

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2023年3月10日
明治大学の所属学部・研究科	商学部
留学(渡航)した時の学年	4年生
帰国年月日	2023年3月18日
明治大学卒業予定年月	2023年3月
留学先大学について	
留学先国	ドイツ
留学先大学	フリドリッヒシラー-大学エーナ(日本語名) Friedrich Schiller Universität Jena(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	ドイツ語・英語/ドイツ語・英語
留学期間	2022年10月~2023年3月
留学先大学で在籍した学年	4年生
留学先の所属学部等	<input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名(日本語):経済学部 (現地言語での名称):Wirtschaftswissenschaften <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 記入例:1 学期/4月上旬~7月下旬、 2 学期/9月中旬~2月上旬	1 学期:4月上旬-8月下旬 2 学期:10月上旬-3月下旬 3 学期: 4 学期:
学生数	21195
創立年	1558



留学費用			
留学費用項目	現地通貨 (ユーロ)	日本円	備考
授業料	0	0 円	
宿舍費	1458	211410 円	月 243 ユロです。
食費	500	72500 円	ほとんど自炊をしていたので、食材を買うお金は平均で月 80 ユロくらいでした。そのほかに食堂で食べたお金も踏まえてこの金額になります。
図書費	0	0 円	
学用品費	140	20300 円	ドイツ語のコースを大学で申請しました。2 コース 120 ユロと教科書が 2 冊で 40 ユロほどでした。
携帯・インターネット費	48	6960 円	月約 8 ユロで、3GB のものを ALDI talk で利用しました。大学にも Wi-Fi があるため、3GB でも旅行へいかなければたりました。
現地交通費	0	0 円	大学までバスで 15 分 トスカのいう学生証を持っていると、チューリンゲン州の公共交通機関を無料で利用することができます。 (<input type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	50	7250 円	ドイツで本を 2 冊ほど購入しました。ドイツは本が高いです。友達から参考書をもらったり、家から持参するのがいいと思います。
被服費	100	14500 円	
医療費	0	0 円	
保険費	705	102225 円	形態:TK というドイツの保険会社に加入しました。月 117.50 ユロです。
渡航旅費	約 1683	244080 円	羽田からフランクフルトへの直通便
ビザ申請費	0	0 円	ビザは申請できませんでした。
雑費	70	10150 円	薬、石鹸、ビタミン剤、ヘアオイル等
その他	245.60	35612 円	Semesterbeitrag: 学費は無料ですが、このお金を毎学期払うことで、公共交通機関を無料で使えます。
その他		円	
合計	4999.6	約 724942 円	飛行機代を入れなければ 50 万円行かないくらいです。旅行に行かなければこのくらいの費用で済ませることができると思います。ユーロから円は 145 をかけて換算しています。

渡航関連

渡航経路
往路 出発地:羽田空港 目的地:フランクフルトアムメイン国際空港 経由地: 復路 出発地:フランクフルトアムメイン国際空港 目的地:羽田空港 経由地:
渡航費用
① 往復チケットを購入した場合 航空会社:ルフトハンザ* 料金:24 万円 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社: 料金: 復路 航空会社: 料金: ∴ 合計:
航空券購入方法
<input type="checkbox"/> 旅行代理店(店名:) <input checked="" type="checkbox"/> インターネット(サイト名:) <input type="checkbox"/> その他()



滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)
<input checked="" type="checkbox"/> 学生寮(寮の名前:) <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ
2)部屋の形態
<input type="checkbox"/> 個室 <input checked="" type="checkbox"/> 相部屋(同居人数 1 人)
3)共有部分
<input checked="" type="checkbox"/> バス <input checked="" type="checkbox"/> トイレ <input checked="" type="checkbox"/> キッチン(<input checked="" type="checkbox"/> 自炊可 <input type="checkbox"/> 自炊不可)
4)住居を探した方法:
大学先が提供してくれたウェブサイト
5)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)
学生寮はとてもよかったです。大学側から提供されたサイト(studierendenwohnheim)から見ましたが、どの学生寮もそれなりに評価が高く、家賃も安いものがほとんどでした。ただ、イエーナで部屋が取れずにエアフルトやワイマールから通う人もみかけました。部屋のオフアを受けたら、相当な不満がない限り受け入れた方が良いのではないかと思います。どこの学生寮も比較的人気がありますが、ただ、ロヘダという場所は、街の中心から遠く、景観もそこまで良くないので学生から人気がありません。



現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。(例: 現地の病院、学内の診療所)

- なし
 あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

- なし
 あり (問題の内容や相談した人等: 現地の友人、留学先大学の事務、明治大学の事務)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

外務省の海外安全ホームページからのお知らせをチェックしていました。イェーナはあまり危ないことはないのですが、他の大きな都市に行くときは、携帯や財布を取られないように、腰に巻いたりチャック付きのポケットに入れたり、コートの中に物をしまうようにしたりしました。実際に盗難等に巻き込まれたことはありません。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WiFi 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

特に問題はありませんでした。学生寮に Wi-Fi はないので、Wi-Fi のルーターとケーブルは自分で用意するひつようがあります。ドイツで列車に乗っているときは、Wi-Fi を使用できますが、ほとんど接続が悪く使えないことが多く、パソコンで作業をすることはあまりできませんでした。大学の Wi-Fi は基本的に繋がりはいいです。私の経験では、ヨーロッパの大学の近くならどこでもイェーナ大学で登録する edurom という Wi-Fi を利用することができました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

N26 というオンラインバンキングを開設しました。必要な際は日本にいる母親から wise で送金していただきました。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えて下さい。

現地のアジアショップで大体の調味料は手に入りますが、めんつゆは高いので持っていったら良いと思います。顆粒だし、常備薬。学生証で洗濯機を使用するお金を払ったり、食堂でお金を払うのですが、学生証にお金をチャージしなければいけません。Girokarte という銀行のカードでチャージもできるのですが、私はオンラインバンキングを使用したため、このカードは手に入らず、クレジットカードのみ持っていました。この場合現金でなければお金をチャージできないため、現金をたくさんもっていくことをお勧めします。どの A T M からもお金を引きおろせますが、何回か使用すると手数料がかかってしまうからです。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)



学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
21 単位	<input type="checkbox"/> 単位 <input checked="" type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:卒業時期が近いから申請ができなかった)
2)履修登録の時期・方法及び履修制限	
<input type="checkbox"/> 出発前 <input checked="" type="checkbox"/> 出発後 <input type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input checked="" type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input checked="" type="checkbox"/> 履修の制限があった:明治大学で所属している学部と対応する学部の授業を履修してくださいという指定医がありました。しかし、バチエラの学生でもマスターの授業を自己責任で履修することも可能だったため、自己責任という形を取ればどの授業でも履修可能だと思います。	
3)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Einführung in die Volkswirtschaftslehre	マクロ経済学導入
科目設置学部・研究科	経済学部
履修期間	半期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面、講義形式(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 90 分が 2 回
担当教授	Markus Pasche
授業内容	財、希少性、機会費用等の用語の定義から始まり、経済的な決断(合理的な決断)とはという視点からゲーム理論について学ぶなど、ミクロ経済学の基礎から、お金の機能やグローバル化のメリットなどマクロ経済学の基礎的な部分を学びました。
試験・課題など	90 分の試験(オンライン、オープンブック)
感想を自由記入	商学部に所属していた時はマクロ経済学を履修しなかったため、いい機会だと思い履修しました。ドイツ語なのでついてい久野がとても大変でした。教授はとてもいいひとで、拙いドイツ語で質問しても対応してくださりました。



履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Vertiefungsmodul Internationales Management		国際経営学	
科目設置学部・研究科	経済学部		
履修期間	半期		
単位数	6		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面、講義形式 (チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に180分が1回		
担当教授	Roland Winkler(Vorlesung), Tina Lorenz(Tutorial)		
授業内容	国際的な経営を展開する際に企業が注意しなければならないことや、意識すべき点などをまなびました。		
試験・課題など	2週間に1回の小テスト(加点なし)、プレゼンテーションが1回、90分の試験が1回		
感想を自由記入	授業はとてもわかりやすく面白かったです。講義は英語ですが、もう一つの Tutorial はドイツ語で行われます。授業内では頻りに周りの人とディスカッションを行ったり、授業内容を一緒にまとめる時間があったため、友達を作るのにも良い授業でした。試験問題は英語で、回答は英語か日本語です。辞書のみ持込が可能でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Basismodul Mathematik für Wirtschaftswissenschaftler		数学 A	
科目設置学部・研究科	経済学部		
履修期間	半期		
単位数	5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	ハイブリッド(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回、Übung が2週間に1回		
担当教授	Stefan Schwerdfeger		
授業内容	経営学や経済学を理解するための数学の基礎知識や統計手法を学びます。		
試験・課題など	期末試験1回(90分)		
感想を自由記入	対面もありますが、授業を録画して配信もしています。そのため後から全ての授業を見返すことができ、復習ができます。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Basismodul Finanzwissenschaft		財政学	
科目設置学部・研究科	経済学部		
履修期間	半期		
単位数	5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面、講義形式(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に90分が1回、Übungが2週間に1回		
担当教授	Silke Übelmesser(Vorlesung), Patrick Dylong (Übung)		
授業内容	税に関する基礎知識から始まり、税の種類や租税理論について学びます。明治大学の授業と違って数学の知識が必要になるので、実践的で難しかったです。		
試験・課題など	2週間に1回テストがあります。8割以上取ると1点加算、6割以上取ると0.5点加算がもらえます。期末試験が1回あります。試験はオープンブックです。		
感想を自由記入	初めは理解できたのですが、後半から数式がメインになり、理解が難しかったです。試験はオープンブックだったのですが、他の試験もあったため途中でドロップアウトしてしまいました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Deutsch als Fremdsprache - B2.1- intensivkurs		ドイツ語 B2.1 集中コース	
科目設置学部・研究科	語学センター		
履修期間	半期		
単位数	5		
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)		
授業時間数	1週間に135分が4回		
担当教授	Ilona Matzka		
授業内容	ドイツ語の文法やリーディング、リスニング、スピーキング、ライティング、ほぼ毎日4技能を練習します。		
試験・課題など	宿題は毎日です。3週間に1回ほどの頻度で試験がありました。最後に筆記試験と口頭試験があります。数回プレゼンテーションがありました。		
感想を自由記入	試験を受けてからどのコースに所属できるか決められるのですが、自分のレベルよりも実際もう少し難しいところに入れられた感覚でした。宿題が毎回出るため、普通の授業との両立が難しかったです。授業内では常にドイツ語をパートナーとはなしたり、周囲の人に説明をする機会があるので、ドイツ語を向上させるとも良い機会になりました。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Deutsch als Fremdsprache -B2.2- Intensivkurs	ドイツ語 B2.2 集中コース
科目設置学部・研究科	語学センター
履修期間	半期
単位数	5
本学での単位認定状況	単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1週間に135分が4回
担当教授	Ilona Mazka
授業内容	ドイツ語の文法やリーディング、リスニング、スピーキング、ライティング、ほぼ毎日4技能を練習します。
試験・課題など	宿題は毎日です。3週間に1回ほどの頻度で試験がありました。最後に筆記試験と口頭試験があります。数回プレゼンテーションがありました。
感想を自由記入	宿題が毎回出るため、普通の授業との両立が難しかったです。授業内では常にドイツ語をパートナーとはなしたり、周囲の人に説明をする機会があるので、ドイツ語を向上させるとも良い機会になりました。



卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

2)進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関など

3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません)
※就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例:留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。)
※就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

明治大学大学院 商学研究科

6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

私は内部推薦で受験をしたため、特に詳しいアドバイスはありません。推薦で大学院に進学する場合、研究したい内容を先行研究とてらし合わせて記入する研究計画書を書く必要があります。お世話になっているゼミの教授等に添削をお願いしたら良いと思います。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。



留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、
期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月 ~ 3月	
	4月 ~ 7月	出願、選考
	8月 ~ 9月	
	10月 ~ 12月	
留学開始年	1月 ~ 3月	コロナワクチン3回目終了。旅券の購入。
	4月 ~ 7月	閉鎖口座の立ち上げ、留学申請等の手続き。
	8月 ~ 9月	8月下旬、滞在先確保。9月30日留学開始。現地での住民登録、学生証申請、10月上旬まで留学生用のイベントに参加。
	10月 ~ 12月	玉ネギ祭り(ワイマル) クリスマスマーケット(ヨーロッパ各地) 冬休み(12月22日-1月3日)
留学/帰国年	1月 ~ 3月	住民登録解除、退去するための掃除、留学先の期末試験。帰国。
	4月 ~ 7月	
	8月 ~ 9月	
	10月 ~ 12月	



留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイスなど、自由に記入してください。

留学先を選んだ理由:元々は日本の性産業に関して興味がありました。ドイツは性産業が合法なので、何か違いを見つけられたり、性産業を勉強する上で何か得られる情報があるのではないかと思い、ドイツを留学先を選びました。第2 外国語がドイツ語であったことも要因です。

大学の雰囲気:留学生が溶け込みやすい雰囲気です。留学生向けのイベントも毎週開かれているため、新しい友達も見つけやすく、本当にいい大学だと思います。食堂やカフェテリアもいくつもありました。図書館での勉強に疲れたら、カフェテリアでコーヒーを飲んだり、何か甘いものを食べるのも良いと思います。かっこいい図書館もありますし、学生証を手に入れると、チューリンゲン州の公共交通機関を無料で利用できるのもとても大きなメリットです。パリに行った際はほとんどの観光名所がEU 圏内の大学の学生証のおかげで、無料で利用できました。

イエナの街:道が広く、街灯も明るいので夜中の2時3時に一人で歩いても、全然大丈夫な雰囲気でした(でもできれば友達と帰りましょう)。街の中心地には大きな教会があります。低い山に囲まれ、赤い屋根ばかりのイエナの街は本当に綺麗です。ドイツ人でも知らない人が多いまちなので、ドイツの人にイエナの話ができるのは面白いです。雪がたくさん降った日は、友人とナポレオンシュタイン(ちっちゃい山)へハイキングに行き、そりであそびました。都会のようにゴミゴミはしていませんが、まあまあな規模でカフェも多く、落ち着いた、学生にとってとても良い街です。

ビザに関して:イエナの外国人局はとても混み合っているなので、日本でビザをとってから入国するのがお薦めです。私は滞在期間中にビザを取ることができませんでした。

ドイツ語に関して:B2 が最低レベルだという意味を実感しました。授業についていくのは本当に難しいです。私は先生の推薦で留学したため正直 B2 ほどのドイツ語能力はありませんでした。英語を使う機会も多いので、どちらも勉強しておいたら怖いものなしです!

授業に関して:私が履修した授業は、ほぼすべて期末試験 100%でした。

